

防災について考えよう!!!

特集第2弾【地震編】

水害編

地震編

災害V.C編

南海トラフ地震が30年以内に発生する確率が70%から80%に引き上げられました。岐阜県でも震度6弱から6強の強い揺れが想定されています。(NHK「災害列島」より)地震が起きた時、あなたはどのようにしますか？

豆知識 その1 慌てて外に逃げるのは危険

建物から脱出する際は、慌てて外に飛び出してしまうと大変危険です。屋根の瓦や窓ガラスなどによる落下物や破損物の被害に遭わないように周囲の状況をよく確認して落ち着いた行動をとりましょう。

※地震被害の80%以上が家屋や家具による圧死です。古い家屋の1階は潰れる可能性が高いため、机の下にいても安全とは言い切れません。状況においては屋外に避難することも大切です。



豆知識 その2 地震発生時に車を運転していた時の対応

ハンドルをしっかりと握って少しずつ減速し、緊急車両の邪魔にならないよう交差点を避け、車を道路の左側に止めてエンジンを切りましょう。車から離れる場合はキーを付けたままでドアをロックせずに避難をしましょう。

豆知識 その3 エレベーターの中で地震に遭遇した時の対応

全ての階のボタンを押し、最初に停止した階で周囲の状況をよく確認してから降りるようにしましょう。エレベーターは地震による停電や故障などで緊急停止し、閉じ込められる危険性が高いため、安全が確保されるまでは利用をしないでください。



避難をする時の注意点

- ①避難する前に、もう一度火元を確認し、電気のブレーカーを落とします。
- ②玄関に安否情報、行き先や連絡先などの貼り紙を表示し、鍵をかけて移動します。
- ③電話が通じなくなることを想定し、連絡手段を複数用意しておきます。SNSの活用もおすすめです。
- ④単独行動は危険なため、近所の人たちと集団で行動(避難)しましょう。
- ⑤狭い道、塀のそば、川べりなどの危険な場所は避けて通りましょう。
- ⑥緊急車両の通行の妨げや交通渋滞を招くため、車での避難はやめましょう。

地震の震度って？

震度とは地面の揺れの強さで表しますが、同じ地震でも地盤や建物の高さによって揺れの程度が違ってきます。
※マグニチュードは地震そのものの大きさを表すもので実際の揺れの強さを意味するものではありません。

震度0	人は揺れを感じない。	震度5弱	多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。
震度1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	震度5強	非常な恐怖を感じる。行動に支障を感じる。
震度2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	震度6弱	立っていることが困難になる。
震度3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。
震度4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	震度7	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。

地震発生時にはまず、自分の身を守ることを最優先とし、避難の際には情報収集を行い、冷静な判断を心掛けましょう。次号「特集第3弾【災害ボランティアセンター編】」に続きます。

目指せ! パーフェクト ☆ 防災クイズ(地震編) ☆

1. 緊急地震速報が発令後の適切な行動は？
(A) 身の安全を確保 (B) コンロの火を消しに行く (C) 急いで家の外に逃げる
2. 自宅内で大きな地震に遭遇した際の安全な場所は？【正解は3つ】
(A) 寝室 (B) トイレ (C) リビング (D) お風呂 (E) 玄関
3. 備えておいて安心なものとして正しくないものは？
(A) 大量の10円玉 (B) 電子マネーや商品券 (C) サイズや色の異なるゴミ袋



答えは次ページ(P.24)をご覧ください。